

# 令和元年度決算の審査

令和2年9月から11月にかけて行われた決算特別委員会の昨年度決算についての審査内容です。予算の執行が適正だったか、多くの質疑が交わされました。

## 総務分科会

### 窓口業務民間委託の状況は？

**問** 平成31年1月から民間委託が始まり、昨年度は2年目。民間委託が始まった当初は、申請から交付まで時間がかかっていたが、現在の状況は。

**答** 当初は、かなり待ち時間が長いというアンケート意見もあったが、最近は短縮した旨の意見があり、スムーズになってきていると思っている。



民間委託された窓口業務

### 市税の不納欠損額の縮減を

**問** 個人市民税をはじめとする市税の不納欠損額は、平成30年度が2,050万円余、令和元年度が2,290万円余。この金額を少なくするために今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 収納率を上げ、滞納繰越にならないよう取り組んでいる。また、口座振替による納税を推進しており、かなり口座振替率は高くなっているが、一層増やしていきたい。

## 産業建設分科会

### 長期的視点での除雪体制の確保は？

**問** 除雪業者の減少と、不安定な気象条件により、除雪体制の確保が困難になりつつある。長期的な視点での除雪体制の確保のため、こういった対策を考えているのか。

**答** 建設業者中心で行っている除雪を、それ以外の業者や自治会にも加わっていただき、地域ぐるみの除雪体制を確保するなど、新たな発想を取り入れていきたい。また、消雪設備の整備も進めており、優先度を見ながら、必要などころには消雪設備を導入し、カバーできないところには、除雪機械と業者を確保し、並行して進めていきたい。

### 水道事業の今後の資金計画は？

**説明** 現時点で、資金面で行き詰ってはいるが、福井県から購入する県水が高額であるため、日野川流域の3市2町と共同で料金の低減を依頼しており、水道会計の経営健全化を図りたい。

**意見** 今後人口減少等によりさらに使用水量が減れば、料金引き上げの可能性も出てくる。県水の値下げを強力で交渉してもらいたい。



水道事業の経営健全化を

## 教育民生分科会

### プレミアム付商品券事業費の不用額が大きい、原因は？

**説明** 消費税率の引き上げによる影響を緩和するための国の事業。非課税世帯・一部の子育て世帯の保護者に対し、販売価格4,000円で5,000円分の買い物ができるプレミアム付商品券を発行した。



令和元年度に発行したプレミアム付商品券

**問** 対象者数を9,810人と見込んで予算を組んでいるが、実際の申請率は45%以下にとどまり、不用額が2,500万円余となっている。予算設定が甘かったのではないかと。

**答** 平成26年4月に消費税率が8%に引き上げとなったことを受け、平成29年6月に住民税非課税の方に対し、「臨時福祉給付金」15,000円を支給したが、この時の申請率は90%以上だった。

今回も、対象者全員が申請されても対応できるような予算要求をした。しかし、プレミアムがあっても、4,000円の資金が必要だったため、希望者が少なかったと考える。